



# J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う  
す べ て の 仲 間 の  
J R 連 合 へ の  
総 結 集 を !!

2024 年 度

N o . 5

2024 年 7 月 3 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

## 連 合 「2024 平 和 行 動 in 沖 縄」 に 参 画

～ 戦 争 が も た ら し た 惨 劇 と 非 人 間 性 の 実 相 を 心 に 刻 み、  
鎮 魂 と 恒 久 平 和 へ の 思 い を 新 た に ～



79 年 前 の 沖 縄 戦 の 犠 牲 者 ら を 悼 む 「慰 霊 の 日」 で あ る 6 月 23 日、連 合 は 那 覇 文 化 芸 術 劇 場 「な は 一 と」 に お い て、2024 平 和 行 動 in 沖 縄 「平 和 オ キ ナ ワ 集 会」 を 開 催 し た。「語 り 継 ぐ 戦 争 の 実 相 と 運 動 の 継 続 で 恒 久 平 和 を 実 現 し よ う」 を テ ー マ に 掲 げ た 同 集 会 に は、全 国 の 構 成 組 織 お よ び 地 方 連 合 会 か ら 900 名 の 仲 間 が 集 ま り、J R 連 合 か ら は J R 四 国 労 組 組 合 員 と と も に 5 名 が 参 加 し た。

集 会 は 「沖 縄 市 山 里 青 年 会」 に よ る 「エイ サ ー」 で 幕 を 開 け、第 1 部 で は、沖 縄 国 際 大 学 経 済 学 部 ・ 前 泊 博 盛 教 授 か ら 「再 考 ・ 日 米 地 位 協 定 ～ “標 的 の 島” か ら の 警 告 : 米 軍、軍 拡、憲 法、自 衛 隊～」 と 題 し た 基 調 講 演 が 行 わ れ た。

続 く 第 2 部 の 平 和 式 典 は 黙 祷 に 始 ま り、主 催 者 を 代 表 し 挨拶 に 立 っ た 連 合 本 部 ・ 清 水 秀 行 事 務 局 長 か ら は、沖 縄 県 民 の 深 い 傷 跡 や 負 担 の 大 き さ に 触 れ、「沖 縄 だ け で は な く 日 本 全 体 の 問 題 で あ り、平 和 で 安 心 な 社 会 は、私 た ち が 暮 ら し 働 く う え で 絶 対 に 欠 か す こ と が で き な い。連 合 は 日 本 政 府 に 対 し、『在 日 米 軍 基 地 の 整 理 ・ 縮 小』 と 『日 米 地 位 協 定 の 抜 本 的 見 直 し』 に 加 え、外 交 努 力 に よ る 近 隣 諸 国 と の 緊 張 緩 和 や 地 域 に お け る 不 安 の 払 し じ ゃ く を 強 く 求 め て い く」 決 意 を 示 し た。



そ の 後、次 の 平 和 行 動 が 開 催 さ れ る 広 島 へ の 「ピ ー ス リ レ ー」 と し て、連 合 沖 縄 ・ 仲 宗 根 哲 会 長 か ら 連 合 広 島 ・ 大 野 真 人 会 長 へ “ピ ー ス フ ラ ッ グ” が 引 き 継 が れ た。最 後 に、連 合 沖 縄 女 性 委 員 会 ・ 堀 川 恵 委 員 長 が 「沖 縄 か ら の 平 和 ア ピ ー ル」 を 提 起 し、参 加 者 は 「沖 縄 戦 の 悲 劇 を 二 度 と 繰 り 返 さ せ な い」「沖 縄 が 直 面 す る 問 題 の 実 相 を 学 び、そ の 解 決 に 取 り 組 ん で い く」「世 界 の 恒 久 平 和 の 実 現 を め ざ す」 こ と を 確 認 し 合 っ た。

J R 連 合 は 引 き 続 き、連 合 を は じ め 理 念 を 同 じ く す る 国 内 外 の 仲 間 と 連 帯 し、私 た ち の 綱 領 に も 掲 げ て い る “世 界 の 平 和 の 実 現” に 向 け 取 り 組 ん で い く。